

子ども達の成長、父母の働く権利、指導員の雇用を守る要望書

春日部市の放課後児童クラブは保護者達による開設から 50 年、春日部市が実施主体となり、(社福)春日部市社会福祉協議会(以下「社協」)が受託者となってからでも 20 年の歴史があります。社会人として活躍している方々を育ててきた大切な存在です。

ところが、来年 4 月から 5 年間の新たな受託者募集に、社協は「春日部市が積算した委託金額では赤字になる」という理由で、突然に応募不参加を決定してしまいました。その結果、営利企業に放課後児童クラブがまかされることになりかねません。

放課後児童クラブがめざすのは、父母が安心して就労でき、子ども達が健全に育ち、必要な生活習慣を身に付けられる場となることです。そして、障害をもつ子、家庭的課題を抱える子、言葉の不自由な外国人の子など、どの子にも等しく向き合う責務があります。

したがって、一人ひとりの子ども達や父母の実情を把握してきた現在の指導員は欠かせない存在です。ところが、春日部市は 160 人にもおよぶ指導員の雇用継続を「市は関係ない。社協がすべきこと」と責任を社協になすりつけ、事業の質については「新たな企業に対しては仕様書(という紙)があるので質は維持できる」と言い、何の根拠も示さずに「指導はする」などと無責任な態度をとっています。

そこで、春日部市には子ども達と父母の不安をなくし、指導員の雇用も守れるように、市民が納得できる具体的な対応策をとるように要望しています。

□ 放課後児童クラブ父母会連絡会・学童保育指導員労働組合・学童保育の歴史と未来を守る市民の会

私は上記の趣旨に賛同し、次のとおり要望します。

1. 放課後児童クラブは春日部市が責任をもって実施してください。
2. 放課後児童クラブを安定的に運営できるように予算を増額し、市が厳格な実施状況点検と指導を行ってください。
3. すべての指導員の雇用継続と、待遇の維持を実現してください。

春日部市長 石川良三 様

氏 名	住 所

□ 連絡先 kadoi@ltj.co.jp

□ 郵送先 〒344-0065 春日部市谷原 1-12-2 埼玉教育会館 気付